

GO VOTE NEWS 選挙にいこう!

Vol.14 NAGA-MIN 2021

選挙法改正年度	選挙権の資格	人口比率
1889(明治 22)年	直接国税 15 円以上を納める 満 25 歳以上の男子	1.1%
1900(明治 33)年	直接国税 10 円以上を納める 満 25 歳以上の男子	2.2%
1919(大正 8)年	直接国税 3 円以上を納める 満 25 歳以上の男子	5.5%
1925(大正 14)年	満 25 歳以上の男子	20.0%
1945(昭和 20)年	満 20 歳以上の男女	48.7%
2016(平成 28)年	満 18 歳以上の男女	83.3%

「投票に行こう」という時に、誰に投票したらいいかわからないし、誰に入れても一緒だから行かないという方も多いと聞きます。良い悪いは別として、政治をあまり意識せずに暮らしていたらそうなるのも当たり前のこと。選挙公約にしてもそんなに差がある??と思ったり、よくわからず選挙のたびに電話がかかってくる宗教団体の知り合いがすすめる候補者に投票してしまったり…。大学を卒業したころの私もそんな感じでした。

確かに、誰に投票すればいいのかというのは難しいですし、候補者に「文句の付け所がない素晴らしい人」というのは絶対にいません。しかしアベノマスクやワクチン接種の遅れ、オリンピック・パラリンピックの強行開催、コロナによる人工呼吸器患者の自宅療養指示など、この間のコロナ対策を振り返ってみても、どれだけ国が国民の命をないがしろにしているかがわかります。さらには、銀行を使つての酒を提供する飲食業への融資停止の示唆など。傲慢としか言いようがありません。そんな人たちに日本を任せていていいのでしょうか・・・。

「選挙権」は戦後になってようやく女性にも与えられ「20 歳以上の全国民」が手にすることができた(2016 年からは 18 歳選挙権実現)とても大切な「権利」です。これがなければ、だれがいつどのようにして決めたのかもわからない、「偉い人」の言うがままの独裁国家になってしまいます。そしてこの大切な「権利」はみんなが使わなければ「いらぬもの」としてある日突然奪い取られてしまうかもしれない代物で、奪い取られたものを奪い返すのはとても大変です。自分たちのことはもちろんですが、後に続く子供たちのためにも、「選挙権」をしっかりと行使して次の世代につなげていきましょう。



財務省舎前で婦人参政権を求めるデモを行うアメリカ人女性 (1913年3月3日)



女性参政権を求めてデモを行うアメリカ人女性 (1913年2月)